



月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

2020

11

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	4
会員雑詠集「無人駅」	9
■例月句会結果■	
おかじょうき川柳社 10月誌上句会	19
川柳吟行会「ぼ」	26
十和田たてがみ川柳会9月句会報	23
■連載■	
「深艘心理」 奈良一艘	8
Infomation	29～

## カンテラ

むせつ

突然ですが、今年の「川柳忘年会」は新型コロナウイルスの感染が県内で予想以上に拡大していることに鑑み中止することになりました。

12月はステイホーム句会となりますので、よろしくお祈いします。

次に、来年1月からの例月句会のこと。会場としてい  
るアウガ5階小会議室は10月から定員の24名まで利用で  
きるようになりました。しかし、それは11月末までで、  
12月以降も24名が利用できるかどうかは11月末にならな  
いと分かりません。よって、2021年1月から3月ま  
での例月句会をステイホーム誌上句会とします。

なお、2021年4月以降の例月句会は、実際に可能

かどうか今のところ不確定ですが場所を変更してでも平  
常の句会に戻したいと思っています。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

## A群

口紅がポーカークレイスの邪魔をする	安藤なみ
手負いのトドが豚と痩せ馬飼っている	村上あつこ
レコードを齧ると海の音がする	夏草ぶぶき
モノクロの空に天使の苦笑い	須藤しのすけ
あみだくじのルールで海へ出てしまふ	斎藤泰子
夕やけの空に余生をぬってみる	村上てる

水はけの悪い部位から黄昏る

熊谷冬鼓

図案通りひとりぼっちになりました

守田啓子

両掌から零れるものはみな零す

吉田州花

吉田州花さん、「零れる」ものは零れる運命にあった  
んだから、零してしまっただけなんです。零さないで溜め  
込んでいると身が持たないもの。私は高齢になってから  
そう思うことが多くなりました。ところで、両手の平っ  
てどれだけのものを掬えるんだろう…。

## B群

手続きはクレオパトラの鼻を押す	田久保亜蘭
ふくらまし粉 もつその辺でいいでしょう	芝岡かへん
天国はきつとタイワンバナナ味	吉田吹喜
眼底のシーラカンスは雌だろう	月波与生
ベートヴェンピアノソナタを食べました	鳴海賢治

走って走ってもう夕焼けに化けました	まきこ
出口など作っていない砂の穴	米山明日歌
ふっくらと笑って去ると書いてある	ひとり静

ひとり静さん、「ふっくらと笑って去る」って何に書い  
てあるのですか？私が予想するのは映画のシナリオ。ひ  
とり静主演『秋のほそ道』なんて題のラブストーリー。で、  
静さんは情夫を振って「ふっくらと笑って去る」。さて、  
「ふっくら」笑われた相手はどうなるか！

## C群

競売物件その3.七十歳の下半身	奈良一艘
五田玉の穴へ緊急浮上せり	石橋芳山
河馬の吐く海市へ鎖骨權にして	きさらぎ彼句香
30%引きの夏の曲り角	岩根彰子
ニンベンらしく俎にノリナサイ	三浦蒼鬼



奈良一艘さん、一艘さんは「七十歳」よりちよい上のはずだからこの句の「下半身」は一艘さんの「下半身」じゃなく、誰か別のひとの「下半身」てことだよ。つまり、今の自分より若い「下半身」を一艘さんは手に入れようとしているんだ…。一艘さんが食指を動かすって余程立派な「下半身」なんでしょうね…。でも、どうしてもつと若い「六十歳」とかにしないのかな？で、その競りつて、どこでやってんの？

石橋芳山さん、「緊急浮上せり」なんて自衛隊の潜水艦みたいだね。でもさ、「緊急」だつてことは分かるけど、よりよつて「五円玉の穴」へ「浮上」するつてドジじゃない？私だったら「福澤諭吉の鼻の下」あたりへ浮上するなあ。あ、そうか、芳山さんはツツマシイ方だから「五円玉」なんだね。(スリスリ)

きさらぎ彼句吾さん、私は「海市」つて何か知りませんでした(汗) 蜃気楼のことなんだね。それでさ、蜃気

三浦蒼鬼さん、句の最初と最後がカタカナつてどういうこと？今度会ったとき聞いても「企業秘密」だとか何とか言つて教えてくれないだろうな…。あれ？「ニンベン」つて広辞苑に出てない…。と思つたら「んべん【人偏】」があった。これだね！「漢字の偏の一つ。「仁」「伊」などの偏の「イ」の称。」つて書いてある。ところで、人偏つて、ひとに關係する漢字の一部だよ。だとすれば、この句で「俎」に載せられようとしているのは人間じゃなく、人間の一部分つてことだ。人間丸ごとだつたら「載りなさい」と書くところを「ニンベン」だからカタカナで「ノリナサイ」つて書いたのかも…。で、蒼鬼さんは「ニンベン」を刺身で食べるのかなあ。もしかしたら、「ニンベン」は比喩で誰かさんのことかな…。ナマダサクなかな…。(スリスリ)。

楼つて「蜃(大ハマグリ)が気を吐いて楼閣を描くと考えられたところから蜃気楼と呼ばれるようになった」つてウィキペディアにあるんだけど、彼句吾さんの「河馬」が「吐く」「海市(蜃気楼)」なんだね…。しかも、「鎖骨」を「權」にして小舟を漕いで行く。「海市」に溶け込むんだね、きつと…。あれ？「河馬の吐く海市」と「蜃の吐く蜃気楼」は違うもののような気がしてきた。女性が見るのは「河馬の吐く海市」で、男性が見るのは「蜃の吐く蜃気楼」。違うよな…。(汗)

岩根彰子さん、「夏」が安売りされてたの？津軽じゃ聞いたことないよ。もしかしたら、津軽の夏つて最初から割り引きされているのかも…。で、彰子さんは30%OFFの「夏」を手に入れて「曲がり角」に来てしまった。ということは、その先は元の割り引かれていない暑い暑い「夏」なんだね。で、どうなつたんだろう。実は、そこを書かないところがいいんだよね。違う？

# 読賣新聞

川柳作品をお待ちしております。

## ■題「時事川柳」むさし選

時事川柳をひとり何句でも。郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記のうえ下記へ投句して下さい。

【投句先】メール：aomori@yomiuri.com 「よみうり文芸」時事川柳係  
ハガキ：〒030-0801 青森市新町2-2-4 新町二丁目ビル6階  
読賣新聞青森支局 「よみうり文芸」時事川柳係

【掲載】毎週火曜日 / 【賞】秀逸には図書カードを贈呈

# 深艘心理

クレヨンの黄色負けないように塗る ひとり静

(会員雑詠集 無人駅9月号より)

雑詠集 無人駅をチエックしながら2回ほどスルーした句。3回目ですと立ち止まった8・9の仕立て。だが「てにをは」がついていないので、意味がよく分からない。で、3時間ほど考えた。ウソだけど(笑)

黄色に?塗るのか、黄色が?塗るのか、または黄色を?塗るので、それぞれニュアンスが違ってくる。しかし敢えて作者は「てにをは」を省いている。

作者は「川柳マガジン5月号」の表紙を飾るような柳豪。となれば、理由があるに違いない。サブタイトルには(川柳はスナップ写真、読み手と定形の力を信じて)とある。

信じていただけたなら深艘心理的に勝手に読み解いてみる。

この句のキーポイントは「クレヨンの黄」。黄色

は希望をイメージさせる色であり、クレヨンは絵へと繋がる。そして黄色で有名な絵と言えばフィンセント・ファン・ゴッホの向日葵の絵。ゴッホにとっての向日葵は明るい南フランスの太陽、ひいてはユートピアの象徴であったという。この「クレヨンの黄色」の意味付けさえ出来れば定形にこだわる作者の意図がそれとなく分かる気がしないでもない。

それは「てにをは」が全部当てはまるから敢えて入れない、という答えではないだろうか。

つまり、クレヨンの黄色(ゴッホのユートピア)に負けないようなクレヨンの黄色(作者のユートピア)をクレヨンの黄色(作者の生き方としての希望)が塗る。という事なのだ。

うむ。これでいいのだ。  
こじつけ御免なのだ。

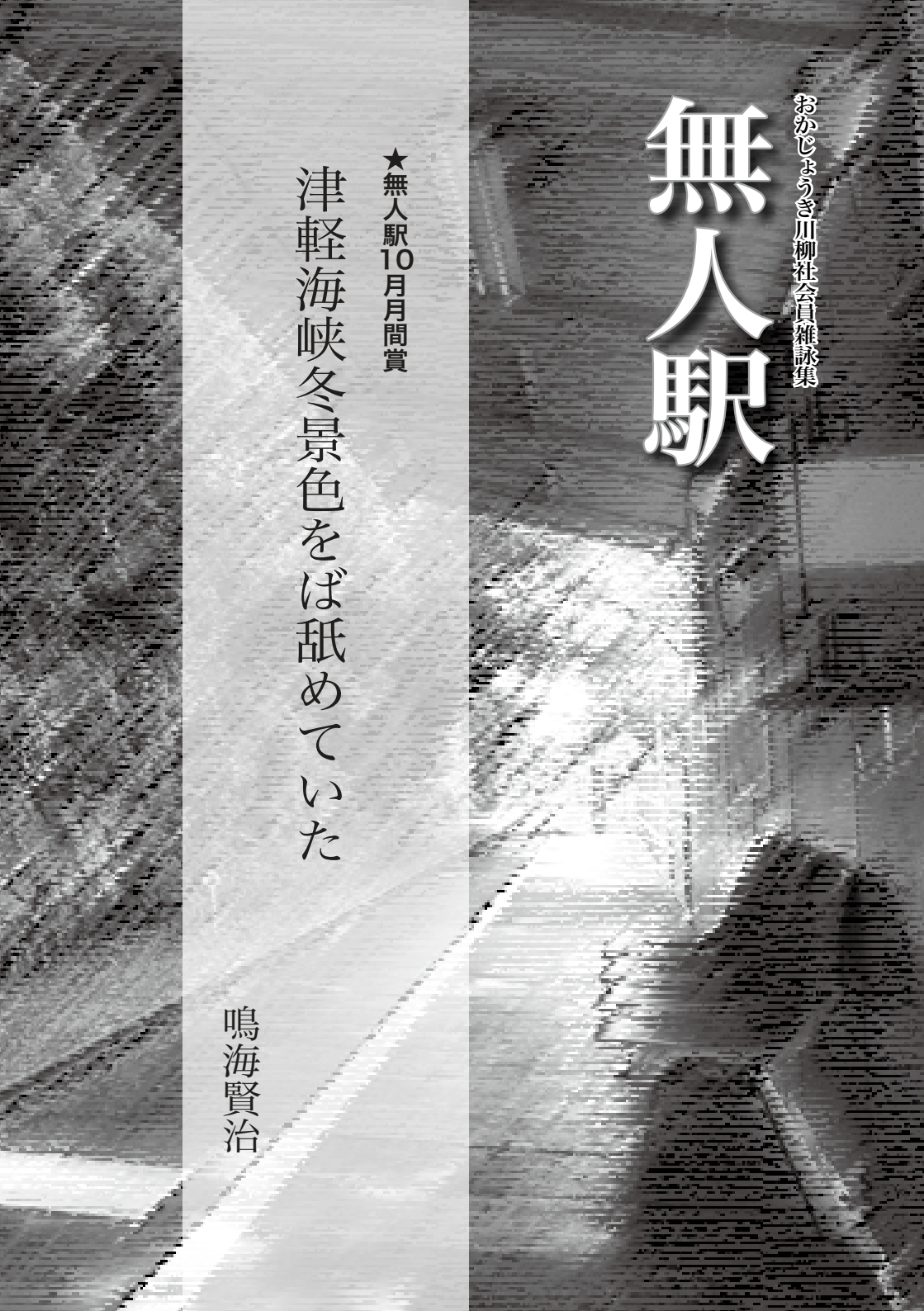
おかしようき川柳社会員雑詠集

# 無人駅

★無人駅10月月間賞

津軽海峡冬景色をば舐めていた

鳴海賢治



## 月波与生【つきなみよじょう・宮城県仙台市】

誕生日過ぎて性感帯変わる  
なみだ雨やんで燕は少年へ  
不規則な目覚めか誘惑なき晩年  
眼底のシーラカンスは雌だろう  
連休が終わる懐かぬ犬のまま

先月号の  
お気に入り

## 土田雅子【つちたまさこ・青森県青森市】

始まりは土砂降り未だ雨女  
耳たぶがきくらげだった日の匂い  
支えてるものあり支えられてる  
それはそうとオロナインはどこだ  
申し訳ござらん制度配信中

先月号の  
お気に入り

基準によると指名手配の顔である  
三浦蒼鬼  
うちの夫の事ですね？

## 夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

レコードを齧ると海の音がする  
秒針を抜いてゆったり生きてます  
引き出しを一つ減らすと日が長い  
触れられてさなり女になっていく  
引き潮が持つていけない桜貝

先月号の  
お気に入り

お返しにいただいてしまった迷路  
守田啓子  
迷路をいただくと悩むよね。

## 奈良一艘【ならいつそう・青森県弘前市】

占いは二択ヤマ勘かアマダくじ  
八戸さんの被害者めいた黒マスク  
前世は毛虫うーむじや分かんよ  
なまたまご マゴワラシ 羅針盤  
競売物件その3・七十歳の下半身

先月号の  
お気に入り

## 鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

戦争を知っている まだ生きてる  
ベートヴェンピアノソナタを食べました  
コラーゲンアミノ酸体内時計  
背伸びしたところはボクの勝手口  
天下泰平西瓜の種を拾う

先月号の  
お気に入り

雑草を引っこ抜いたらサスペンス  
夏草ふぶき  
サスペンスが良かった。

## ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

落書きをいくつ描いたら過去になる  
メビウスの帯を歩いているようだ  
忘れたように水は流れてゆきました  
ふつくらと笑って去ると書いてある  
天高くポロンとピアノ降ってくる

先月号の  
お気に入り

ピリヨードを消してください砂時計  
かんえもん  
ピリヨードがない、ないと言っていた人もいるし、人間っ  
ておもしろい。

## まきこ【まきこ・青森県青森市】

山背吹く失うものを数えている  
いつ負けるどう負けるかが決まらない  
以下同文 続く真昼のファンタジー  
走って走ってもう夕焼けに化けました  
へその位置どこにしようか昼の月

先月号の  
お気に入り

的外れな会話が続く三丁目  
熊谷冬鼓  
同感。私も三丁目の住民になりました。

## まみどり【まみどり・青森県黒石市】

両手足投げ出し海になれたなら  
攻撃も守りもせずに夢心地  
比べてはいけない昨日今日その他  
不都合の理由にしたいくない所在  
ガツンとしなきや滑らかでいなきや

先月号の  
お気に入り

お返しにいただいてしまった迷路  
守田啓子  
だから面倒なことになってしまっつよね。

### 三浦蒼鬼【みうらそうぎ・青森県黒石市】

ハッシュタグ付き片道切符持たされる  
パターンにはまれば臍がむず痒い  
ニンベンらしく俎にノリナサイ  
ハローワークの前で溺れたことがある  
悪い噂は肘をたたんで返します

先月号のお気に入り

### 村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

ステイホームトドが一匹居間にいる  
夏バテも知らぬ白豚闊歩する  
猛暑でもコロナ太りのオットセイ  
手負いのトドが豚と痩せ馬飼っている  
低気圧神経痛を呼び起こす

先月号のお気に入り

引き出しの奥にひっそり二枚舌 まきこ  
そうか引き出しの奥に隠してたんだ。いつ出してくるの  
かな二枚舌

### 村上てる【むらかみてる・青森県青森市】

剪定の小枝の痛みふと思う  
原点は父に打たれた杭でした  
吐き出した秘密吸いこむ秋の空  
夕やけの空に余生をぬってみる  
ありがとうこの一言でなごむ風

先月号のお気に入り

いい訳のてっぺんあたりが焦げ臭い 辻井洋子  
私もいい訳の句を作ります。まさに同感でした。

### 守田啓子【もりたけいこ・青森県青森市】

副交感神経高くして「何故？」  
青空を見ちやつた落花生の孤独  
凶案通りひとりぼっちになりました  
くたくたになるまで茄子を煮て 他人  
倍返し的位置にタイマーセットする

先月号のお気に入り

ずっと先の約束なんてのうぜん花 吉田州花  
切ないです。

### 柳谷たかお【やなぎやたかお・青森県外ヶ浜町】

おーい雲生年月日教えてよ  
秋なので空の深さを追っている  
流れ星人生あつという間だね  
目標にされたら走り続けます  
霜月の風より淋しいものは無い

先月号のお気に入り

### 葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

乾杯のグラスへ今日も黒ビール  
宣誓は右手濡れ衣の左手  
野心バレバレ担うを狙うと言つちまう  
妻の目を盗んでトイレ掃除中  
ウイルスが棲んでいそうな菊人形

先月号のお気に入り

まちがってないのに合歡の木が揺れる 守田啓子  
裏の家からきた合歡が閑女庵で3本発芽しています。抜  
こうとすれば「まちがってない」と言われそ。

### 吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

約束で十時の月を見えています  
好きだった君がいた街老いてゆく  
愛されています遠くに住んだまま  
両掌から零れるものはみな零す  
もう一度確認します水の精

先月号のお気に入り

的外れな会話が続く三丁目 熊谷冬鼓  
三丁目に住み始めて五十年

### 吉田吹喜【よしだふぶき・青森県弘前市】

めりめりと鮮やかになってゆく記憶  
戦意喪失 立派な人はスルーする  
うまいよね 体に悪いものつてサ  
天国はきつとタイワンバナナ味  
かわいいそな役が似合わなくて ご・め・ん

先月号のお気に入り

手首って具体的には雨である 徳長怜  
不思議だけど そうだなんて思っていました。



### 吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

自粛自粛と季節の列車とおりすぎ  
昼顔のあわき夢みる昼さがり  
閉じこめて低音楽器鳴らして  
雨音を聞けば千金 熱帯夜  
稲光り 人はこうして生きてきた

先月号の  
お気に入り

### 米山明日歌【よねやますか・静岡県長泉町】

コップから答えこぼしてしまつた日  
出口など作っていない砂の穴  
何にでも蓋してしまう泣きぼくろ  
闇よりも余白の白に踏み迷う  
さよならはネギ一本の重さほど

先月号の  
お気に入り

ヒマワリになれるかどうか歩き出す 辻井洋子  
私は、ヒマワリにはなれません。でも、鬼百合にならな  
れると思います。

### 岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

取り敢えず寝給え風船葛の君  
あれはそうY字路でした恋でした  
迷つたら寄つて行きなよ豆皿よ  
酔芙蓉くちびる濡し何の嘘  
30%引きの夏の曲り角

先月号の  
お気に入り

ヒマワリになれるかどうか歩き出す 辻井洋子  
ヒマワリのカタカナ表記、なれるかどうか…愚直さが愛  
おしい。

### きさらぎ彼句吾【きさらぎあくあ・青森県弘前市】

この澱おりきると花でいられない  
もう戻れない位置に目的地は在った  
河馬の吐く海市へ鎖骨權にして  
切れかけの蛍光管と馬が合う  
追い抜きざまに秋がニヤリとふりかえる

先月号の  
お気に入り

もう春を放つたらかしにしているの ひとり静  
大変な目に会いますよ〜(笑)

### 安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

奥へ奥へ駆り立てられるアマゾネス  
コーヒーの無職無臭ノンカフェイン  
くのいちハニートラップ許さない  
助太刀に任せてすたらアイスダンス  
口紅がポーカーフエイスの邪魔をする

先月号の  
お気に入り

頭の中にペンペン草が生えてきた むさし  
ペンペン草って意外に可愛い。

### 石橋芳山【いしばしほうざん・島根県松江市】

穏やかな起伏にレモン転がせる  
感情を殺し埴輪をまねている  
五円玉の穴へ緊急浮上せり  
嘘をつく臍に唐辛子をまぶす  
おにぎりの中に邪馬台国がある

先月号の  
お気に入り

### 熊谷冬鼓【くまがいとうこ・青森県青森市】

朝露を集めてるのは朝の蜘蛛  
陽に当てて朝を美味しくしてもらう  
とりあえず広げて見せる手付金  
水はけの悪い部位から黄昏る  
丸い背になつていないか鎌の月

先月号の  
お気に入り

モノクロの屋 瞑想をする杉林 安藤なみ  
墨絵の中に迷い込んだような感覚になりました

### 斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

角とれたらしい ごろんと転び癪  
あみだくじのルールで海へ出てしまふ  
ジタバタジタバタもう七十がやってくる  
七十歳の段差につまずいてばかり  
身の程の中で愉しんでる真昼

先月号の  
お気に入り

わたしから流れ出す夕焼けの赤 守田啓子  
三日前に指を切りました。ああ・私の夕焼けだあって  
啓子さんの句を思い出しました。



### 笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

聞く耳を持たない癪が蛸になる  
右脚が身籠っている蝸牛  
はらはらと母の遺骨が降ってくる  
ぼろぼろの夜を纏ってペンが翔ぶ  
言い訳とわかっていても抱きしめる

先月号のお気に入り  
マスク外せば鼻がポロリと落ちますよ　むさし  
華がないので、マスク外せません。

### 芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

この仮面はずしてもまだまだ仮面  
ゲンコツの深い処にいる甘み  
四六時中わたくしだけに刺さるトゲ  
夢の塵ざらりと触れた足の裏  
ふくらまし粉もうその辺でいいでしょう

先月号のお気に入り  
具の無いカレー乗り遅れたいバスを待つ　須藤しんのすけ  
「乗り遅れたいバス」に惹きつけられました。夢も希望もないこの感じ好きだなあ…

### 瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

良心の牙城なかなか譲らない  
カジュアルがムーデイになる夜の顔  
断崖に来るなど荒波乱れだす  
押し入れの隅で私の羽根休め  
チコちゃんも自粛が続ぎボーとする

先月号のお気に入り  
痰つぼの底に東京落ちていた　村井規子  
痰壺とは最低最悪のゴミ箱以下のモノ。その底に「首都東京」が…。着想にヒックリです。

### 田久保亜蘭【たくぼあらん・秋田県五城目町】

手続きはクレオパトラの鼻を押す  
このヤマを洗うときつとスフィンクス  
闇サイトごちゃごちゃ聞くな小火になる  
初耳にボリビア風をてんこ盛り  
遠回りしてワンペアになりそこね

先月号のお気に入り  
ウジャウジャと生きボツンボツンと消える　かんえもん  
まあ、そんなものでしょう。人生は。

### 城後朱美【じょうあけみ・福岡県八女市】

先生の笑顔前歯が欠けていた  
何を思いか師匠が豆を挽く  
ぼつねんとコーヒーミルの存在感  
十四年私を守るウルトラマン  
先生が亡くなったとは言えぬまま

先月号のお気に入り  
階段をだびよんだびよんと登る人　旅男  
だびよんだびよんと私も明日を生きていく

### 須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

代役のズルい男と見る星座  
シューカツの雨の日シヤネルは5番に  
ストリートピアノ知らない風が吹く  
閉店の本屋の夜を始めます  
モノクロの空に天使の苦笑い

先月号のお気に入り  
貸している時間返してくれませんか　土田雅子  
今ですと中途解約扱いになります。それでよろしいでしょうか？

### 旅男【たびお・青森県五所川原市】

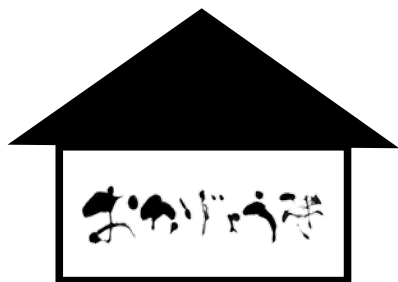
ぼくはウン運がいいウンうんといひ  
寒くて暑い「Wの悲劇」トタン葺き  
カラスが踊る「ブリキの太鼓」トタン屋根  
曲がる度益々寂し人の「道」  
単線の何でもひとり「鉄道員」

先月号のお気に入り  
ズッキーニゴーヤインゲン夏衣　吉田州花  
サーヨイヨイ、唄のようで俳句のようで舌転がりがよるしいなあ。

### 田中薫【たなかかおる・青森県弘前市】

だれですかわたしのうしろにいるのは  
お酒ってなんでも言えるんですよね  
キュンキュンしたって何したって無理  
男も女も関係ない・ないの  
海がない山がない中間地点

先月号のお気に入り  
縁側で年寄りとり出来上がる　辻井洋子  
隣の席空いていますか？



# 家にいよう

▼投句者 (42名・到着順)

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 柳本恵子 (奈良県)     | 田中薫 (青森県)     |
| 旅男 (青森県)       | 石橋芳山 (島根県)    |
| 吉松澄子 (愛媛県)     | きさらぎ彼句吾 (青森県) |
| むさし (青森県)      | 土田雅子 (青森県)    |
| 安藤なみ (愛知県)     | 渡邊こあき (青森県)   |
| 鎌田次男 (秋田県)     | 須藤しんのすけ (青森県) |
| 米山明日歌 (静岡県)    | 紫の園 (東京都)     |
| 三好光明 (愛知県)     | 斎藤泰子 (秋田県)    |
| 芝岡かんえもん (神奈川県) | 徳長怜 (徳島県)     |
| 尾崎良仁 (千葉県)     | 四ツ屋いずみ (北海道)  |
| 峯島 妙 (大阪府)     | まきこ (青森県)     |
| 西沢葉火 (長野県)     | 葉閑女 (青森県)     |
| 吉田吹喜 (青森県)     | 中村暁代 (岩手県)    |
| 坂本清乃 (青森県)     | 田久保亜蘭 (秋田県)   |
| 宮井いずみ (大阪府)    | まみどり (青森県)    |
| 斉尾くにこ (鳥取県)    | 笹田かなえ (青森県)   |
| 岩根彰子 (京都府)     | 藤田めぐみ (東京都)   |
| 城後朱美 (福岡県)     | 笹田隆志 (青森県)    |
| 寺川弘一 (大阪府)     | 守田啓子 (青森県)    |
| 鳴海賢治 (青森県)     | 村上あつこ (青森県)   |
| 岸井ふさゑ (大阪府)    | 熊谷冬鼓 (青森県)    |

むさし【むさし・青森県蓬田村】

ジョーカーへ淡谷のり子を移植する  
味噌の香りが微かにしてる第5番  
肩と背中へ流星群をコピペする  
「夕焼け」という台風が来る らしい  
受信トレイが暴風域になっっている

「無人駅」は会員の自由な発表の場です。  
未発表句5句をお寄せください。  
また、お手元の最新号から、  
お好きな作品とそれに対するコメントも  
お待ちしております。

お得な会員サービス、  
あります。

**家族割**

既会員の三親等以内であれば、

年会費が **50%OFF!!**

学生さんなら、

年会費が **66%OFF!!**

**学生割**

by おかじょうき川柳社

# 宿題『他』

東京都 藤田めぐみ選

### 【佳作】

右足は君が好きだと言っている  
 銭湯の他人に励まされている  
 果てしなくため息づく他人丼  
 指先が他人行儀になる夜明け  
 供えてる柿と近況エトセトラ  
 その他からジャン・コクトーをつかみ出す  
 THE ENDの烙印があるエキストラ  
 鰐の鳴く朝はいつもと違います  
 チャツチャツと他人の顔でレバニラ炒め  
 快適に暮らすおむつバケツその他  
 「ん」までのどの人も行きずりの斜陽  
 昨日まで宣伝カーのカーニング  
 筋膜を剥がせば他ならぬ初秋  
 モナリザに他人ばかりが会いに来る  
 着信の履歴サラサラ情死考

む さ し  
 斎藤泰子  
 芝岡かんえもん  
 米山明日歌  
 渡邊こあき  
 む さ し  
 西沢葉火  
 安藤なみ  
 岸井ふさゑ  
 土田雅子  
 きさらぎ彼句吾  
 安藤なみ  
 守田啓子  
 寺川弘一  
 須藤しのすけ

ギターとは違う楽器を渡される  
 素っ裸の大根ですが他意はない  
 他愛無い話がしたい人魚です  
 他人のふりして卵二パック夜はオムレツ  
 真夜中のダンスは水蛸以外ね

### 【五客】

他人事なのにお手玉してしまう  
 他人になつた右半身へ水を遣る  
 歩くのが下手でその他がぴったりで  
 私じゃないわこんな甘くされちゃって  
 六十五の私その他で括られる

### 【人位】

特になしと書かれただけの備考欄

### 【地位】

排他的履いた敵ハイター的心理

### 【天位】

これはいい 他人の空似として踊る

葉 閑女  
 吉田吹喜  
 柳本恵子  
 村上あつこ  
 岩根彰子

ま き こ

む さ し

吉田吹喜

芝岡かんえもん

城後朱美

熊谷冬鼓

四ツ屋いずみ

四ツ屋いずみ

◆【人位】備考欄の「特になし」の奥に、実は深く長い物語があつたかも知れない。特になしという言葉で永遠にその物語が封印されてしまうとしたら、怖い。【地位】分断モードの今日この頃、排除して踏んづけて漂白消毒して・9年前はあんなに絆！絆！って言ってたじゃん。川柳 HIPHOP。【天位】空似の誰かとしてなら大胆に自由に(時に悪いダンスを)踊ってしまえる！自分じゃないから平気・…ってもしかしてこれが本当の自分？◆

# 宿題『溜まる』

秋田県 斎藤泰子選

### 【佳作】

未読メールが溜まってしまふポンペイ忌  
 ストレスは溜まるしピュアになれないし  
 モナリザの鼻が落ちてる潮溜り  
 轍に溜まるのは昨日のため息  
 言い訳が上手になった吹き溜まり  
 ばんばんの夢を浮力に綿毛翔ぶ  
 咀嚼した涙抱えている仏間  
 水たまり蹴飛ばし泣き寝入りしない  
 檸檬色溜まると月へ帰れます  
 りんごの花びらを溜めている笑窪  
 日だまりにくるまる息が温むまで  
 日溜りにポツンと母の押し車  
 言の葉を呑みこみ過ぎた無人駅  
 砂時計たおして笑顔おいてつた  
 涙壺供養ではない花を挿す

吉松澄子  
 吉松澄子  
 む さ し  
 米山明日歌  
 尾崎良仁  
 きさらぎ彼句吾  
 土田雅子  
 須藤しのすけ  
 徳 長 怜  
 徳 長 怜  
 四ツ屋いずみ  
 まみどり  
 まみどり  
 藤田めぐみ  
 藤田めぐみ

片方が溜まるくつしたピアス 恋

いつかやるばかりが溜まる 溜めておく

介護録のどこ捲つても水溜まり

割り算の余りばかりの溜まる秋

8kの知つたかぶりを汲みだすわ

### 【五客】

手に刺さる母が溜めてた夕陽の欠片  
 なくなつたものであふれるザポンの月  
 右膝が溜め込んでるスキヤンダル  
 胸中で溜めた「いいえ」で破裂する  
 何も溜めない何もさびびしくない両手

### 【人位】

ひと滴か沼になるか決めなさい

### 【地位】

やつと涙になれたんだ胸の澱

### 【天位】

金婚式もうこぼれてもいいですか

徳 長 怜

熊谷冬鼓

きさらぎ彼句吾

米山明日歌

岩根彰子

守田啓子

守田啓子

葉 閑 女

峯 島 妙

守田啓子

坂本清乃

きさらぎ彼句吾

芝岡かんえもん

◆【人】この語め寄り感にびびっている自分がある。つい「締め切りはいつですか」と聞いてしまっそう・・・【地】も【天】も、私の評なんか拒否しているようだ。静かに笑っている人にさえ、胸の中にはどうしようもない澱が沈殿しているらしい。金婚式を超えたあたりから浄化されていくだろうことを信じてたい◆



# 宿題『自由詠』

青森県弘前市 奈良一艘選

## 【佳作】

鉢植えの秋桜ふて腐る声ね  
 トカゲモドキの舌で検温される  
 発禁本ユリの花粉の黄にまみれ  
 南無阿弥陀ってイエスタデイのことですか  
 認めなさい的を外れたこぼれ萩  
 夜を編む私が握る世の尻尾  
 あきらかに溝板 あきらかに余熱  
 鳥賊を剥くように筋膜から悲鳴  
 舌先で解体されるおとこたち  
 上品なヒガンバナ科に諭される  
 平熱に戻るるとみんないなくなる  
 夏終わるヤフージャンパンの自傷跡  
 いさかいの波紋に寄ってくる海月  
 ゆうぐれのがらんどくに あ、キンモクセイ  
 母が降りてくる十五夜のすべり台

岩根彰子  
 徳長 怜  
 岸井ふさゑ  
 むさし  
 坂本清乃  
 旅 男  
 鳴海賢治  
 峯島 妙  
 芝岡かんえもん  
 熊谷冬鼓  
 斎藤泰子  
 尾崎良仁  
 宮井いずみ  
 守田啓子  
 守田啓子

## 十和田たてがみ川柳会9月句会

【参加者】漆館ミノリ・木村奈生美・斉藤蛙井・佐藤まさあき・瀧尻善英・村上昌子・高田幸柳

【投句者】磯島雅男・城後朱美・福田芳記

## ■席題『無駄』 高田 幸柳 選

### 【平抜き】

我家無駄なし笑顔でおもてなし  
 限りなく辺野古の海へ砂利を入れ  
 無駄話それでもソーシャルダンス  
 げんねんは無駄の極みも止められぬ  
 玄関ですだれとなった傘百均  
 無駄のない昭和史だった親の背な

### 【秀逸】

夜討ち朝駆け靴の底ばかり減り  
 主婦の目が家計簿拾う無駄遣い  
 時ばかり奪うスマホに鬼が棲む

漆館ミノリ

佐藤まさあき

佐藤まさあき

斉藤 蛙井

瀧尻 善英

木村奈生美

瀧尻 善英

佐藤まさあき

瀧尻 善英

発酵か腐敗か 薄荷のドロップ  
 目の底へ真つ直ぐ君が来て驟雨  
 ぴったりと秋の差し歯がはまらない  
 いきなりですが今日甘栗になりました  
 金魚のぼろぼろ潜水艦のほとほと

## 【五客】

吉田吹喜  
 むさし  
 米山明日歌  
 芝岡かんえもん  
 笹田隆志

## 【人位】

さよならの気配をさせる結び方

米山明日歌

## 【地位】

明日から有効期限切れの毒

西沢葉火

## 【天位】

水の音していた悪いことをしていた

笹田かなえ

◆【人位】相手をなるべく傷つけないような別れ方が一番難しい。気配をさせる結び方が上手い。【地位】有効期限切れとはご謙遜。たとえ期限切れだとしても、その毒は人生の勳章。【天位】悪いことはどんなことなのか妄想が膨らむ。水の音は誰かを泣かせたのか、それとも妄想が膨らむ。水の音の比喩と悪いことという予定外の着地の驚きが絶妙に効いた◆

## ■席題『無駄』 瀧尻 善英 選

### 【平抜き】

挨拶と無駄口だけは得意です  
 右顧左眊無駄を積上げ役に就く  
 げんねんは無駄の極みも止められぬ  
 無駄のない昭和史だった親の背な  
 主婦の目が家計簿拾う無駄遣い  
 無駄だとは分かっているも神頼み

### 【秀逸】

限りなく辺野古の海へ砂利を入れ  
 物置に無駄が沢山あふれてる

### 【特選】

消費税一円玉が威張り出す

斉藤 蛙井

## ■宿題『無責任』 瀧尻 善英 選

### 【平抜き】

新政権モリカケサクラに蓋をする  
 無責任な言葉に恋も冷めていく  
 生んだ子を父母に任せて帰らない

佐藤まさあき

城後 朱美

城後 朱美

身勝手が街の治安を左右する  
フーテンのトラだ子育てでヒト任せ  
責任があるといいつつ知らんぶり  
野良犬や野良猫元の飼い主が  
パチンコのママ子を放棄無責任  
流れ雲無責任だな何処へゆく  
原筈のくみ取りトイレあふれそう  
宿題を残して途中で放り出し

高田 幸柳  
村上 昌子  
漆館ミノリ  
漆館ミノリ  
木村奈生美  
齊藤 蛙井  
福田 芳記  
佐藤まさあき

【秀逸】

ドタキャンのデート二度目で破局する  
方便に乗せて一票釣りました

高田 幸柳  
村上 昌子

【特選】

無責任だから分からぬ荷の重さ

木村奈生美

■宿題 『虚しい』

齊藤 蛙井 選

【平抜き】

国民の命守ると話すだけ  
家事育児へとへとになる二十五時  
完敗へ虚しい空の帰り道

漆館ミノリ  
城後 朱美  
木村奈生美

- ① ネット化が今昔変える暮らし向き
- ② 海の底船の昔を聞く魚
- ③ 古日記 過去の栄光しゃべり出す
- ④ 困難のむかしに耐えて来た背骨
- ⑤ その昔 父さんもてたと言う話
- ⑥ あの時の修羅が確かに生きている
- ⑦ 後戻りできぬ覚悟の角隠し

木村奈生美  
村上 昌子  
瀧尻 善英  
木村奈生美  
佐藤まさあき  
瀧尻 善英  
高田 幸柳

■十和田たてがみ川柳会11月旬会案内

【時】 11月21日(土) 午前10時から 【所】 十和田労働  
福祉会館 【宿題】 (各題三句詠) 『もじもじ』久保あざ  
み選 / 『モダン』齊藤蛙井選 【互選】 (二句詠) 『模様』  
当日出席者のみ(句箋の裏に雅号記入) 【席題】 一題  
(三句詠・共撰) / 選者は、瀧尻善英ほか出席者から一  
名 【投句先】 〒034-0049 十和田市西二十二番町2-1  
21 十和田労働福祉会館 高田幸柳あて

自民党後利益頼みの菅選び  
虚しさを抱き孤独の闇の中  
美味しいもごちそうさまも言わぬ夫  
虚しさを奮起に変えて生きてきた  
つまらない過去にこだわる虚栄心  
虚しさも歓喜も抱いて人になる  
優しさが仇になつてる神田川  
子が巣立ちぼつかり空いた穴に居る

福田 芳記  
木村奈生美  
城後 朱美  
高田 幸柳  
瀧尻 善英  
木村奈生美  
高田 幸柳  
佐藤まさあき

【秀逸】

虚しさを広げて帰るうるこ雲  
ねぶたなく花火もなくて夏終わる

磯島 雅男  
佐藤まさあき

【特選】

独裁の陰に虚しさ垣間見え

高田 幸柳

■互選 『むかし』

- ① 青い鳥昔は飛んでいただろう
- ② 折に触れ過去の失態披露され
- ③ 幾世代むかし話は受け継がれ
- ④ 今もあるまぶたの裏の天の川

齊藤 蛙井  
高田 幸柳  
福田 芳記  
村上 昌子

# 川柳吟行会「ぽ」

## 9月句会

熊谷冬鼓

今回の投句参加者は14名で42句。各自特選1句、佳作2句を選んだ結果である。課題は「石」。特選が重なった句は1句だけ、と選は随分ばらけたようだ。そろそろ吟行句会ができるかと思っていたが、青森県にも新型コロナのクラスターが出てしまい、課題による投句句会はこれからも続きそうである。

### 【4点】特×2

岩を割る水は静かに女系の祖 旅男

【恵子】石を割る激しさを秘めて静かに流れる水。そこに女系を見ている。女性は太古から粘り強く生きてきたのです。【さち】静謐な風景に遅しい女性の生き様が浮かんでくるようだ。強い言葉はなにもないのに自分も覚悟を迫られているような・

### 【4点】特×1・佳×2

ポケットの小石投げたくなって 峯島妙

気のあう石さがす川辺の秋一日 宮井いずみ

【紫の園】川辺で気の合う石を見つけて、秋の一日をのんびり過ごす、充実した癒しのひと時。何ていい日なのでしょう。【旅男】私が探し当てたのはバイトの喫茶店でした。

石段に風のしがらみこぼれ萩 吉見恵子

【隆志】風のしがらみ、こぼれ萩。どっちもいいね。【紫の園】石段の奥に固まる萩の小さな花や葉は、風のしがらみのなせる技との意で、よく捉えたと思う。「しがらみ」にインパクトがあるが、別な言葉でしたら、格調高い句になると思う。

ごろた石「ゴロ」少年に帰れ 旅男

【啓子】少年に帰れないことは承知であるが、郷愁を感じる。せつない。【いずみ】「ごろた石ゴロゴロ」が楽しい。河原に行けばみんな少年に還れる。

年は六十 性別は石ころ 守田啓子

【彰子】とても斬新な作品。作者の蒙古斑が迫って来ました。性別が石ころ良いですね。1字空けが成功しています。【冬鼓】今の自分は性別を超えた石ころ。この開き直りが愉快。

### 【2点】特×1

おだてには容易く乗らぬ石である 熊谷冬鼓

【文音】昭和の背広のポケット。エプロンのポケットにはない悲哀がある。未だ投げられなかった小石があるようで、「いる」がいいです。【いずみ】共感句。些細なことだが溜め込んでしまつと投げ出したくなる。【旅男】投げたくなった時、別れても良いかと思う。

さよならのあとから小石点点点 守田啓子

【写生】余韻を示す……を小石点点点と表したのは面白い。点のれつかも小石に見えます。【さち】別れた後の未練か後悔か。石つぶてなら怖い。【五郎】ペーソスあふれている。小石が見えてくるようだ。

### 【3点】特×1・佳×1

墓石は雨に打たれるためにある 小野五郎

【冬鼓】家族を見守ってほしいと墓前で思う。自分も墓石になった折には家族に代わり雨に打たれよう。断定的な表現は作者の照れととった。【啓子】妙に納得させられました。

【妙】「石」という題に対して、正面からすつきりと詠まれています。「石である」の下語の言い切りが気持ちいいです。訳あつて重ねた石の上にいる 熊谷冬鼓

【いずみ】誰が何のために石を重ねたのか。なぜ石の上にいるのか。そもそも石とは何か。疑問だらけで気になる句。

ああ君も石破茂のパンツだね 月波与生

【五郎】独自の発想。突き抜けている

寄りどころなくして眠る庭の石 福田文音

【旅男】父か母かもうじき自分か、寝るしかないんですね。でも腐らない庭石は厄介だ。

重しにはなっているよ石の人 旅男

【こあき】石の人は、無口なご主人でしょうか。私にはラブソングのように聞こえました。

### 【2点】佳×2

友の死や空から石が降るような 滋野さち

【写生】友達がいらないので想像でしかないが、そんな気持ちになるんだろうなと思う。【隆志】衝撃的な死であることがよくわかります。

鉢底石なんです筋肉つきました 岩根彰子



□ 2020.11.16 ✕ 「新年文芸」作品を募集

2021年の東奥日報元日号で発表する「新年文芸」の作品を募集します。多数の応募をお待ちしています。【選者】16代尾藤川柳氏【応募要項】未発表の作品に限ります。他紙との二重投稿、名前を変えての規定数を超える応募は受け付けしません。「新年雑詠」1人2作品まで、はがきで応募してください。宛名面に郵便番号、住所、氏名（筆名の場合は本名も）、電話番号を必ず記入し、「川柳」と朱書きしてください。はがきの裏面は、作品だけを楷書ではっきりと記入してください。【締め切り】11月16日（月）必着。【送り先】〒030-0180 青森市第二問屋町3-1-89 東奥日報社生活文化部「新年文芸」係。【賞】1位に図書カード1万円分、2位に7千円分、3位に5千円分を贈ります。

▼ 2021.01.15 ✕ 第9回卑弥呼の里誌上川柳大会

【締切】令和3年1月15日（金）消印有効【投句料】1,000円（切手不可）発表誌呈（4月初旬発送予定）【課題】（各2句）「自由吟」古谷龍太郎・森中恵美子共選 / 「永遠」むさし・大西泰世共選 / 「苦手」石橋芳山・樋口由紀子共選 / 「葉」井上一筒・赤松ますみ共選 / 「瓶」板垣孝志・木本朱夏共選【投句用紙】投句用紙あり（コピー可）【投句先】〒842-0103 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町大曲2426-2 卑弥呼の里川柳会 真島久美子宛 Tel/Fax 0952-52-1061【賞】各題特選1句・有田焼1万5千円相当 / 各題佳作5句・図書券 / その他サプライズ賞あり【主催】卑弥呼の里川柳会【協力】毎週Web句会

□ 2021.01.31 ✕ 2021年青森縣川柳年鑑「ねぶた」作品募集

【応募資格】青森県在住または青森県内の結社に所属している方【応募料】3,000円（切手不可）【対象作品】残しておきたい自選10句 / 作品にタイトル（タイトル無しも可）【応募用紙】所定用紙（コピー可）またはA4用紙に楷書で。住所、氏名（姓と柳号・本名）、電話番号、年齢、性別、柳歴、所属結社（2社まで）【掲載内容】A5版の冊子に作品、姓と柳号、住所、電話番号、所属結社（住所と電話の掲載は任意、その他はデータ資料として活用）その他不浪人賞、年度賞、蝶五郎賞、文芸コンクール、新聞の柳壇、東奥少年少女文芸大会、各大会の記録、各結社の呈賞、柳壇トピックなど【募集期間】2020年10月～2021年1月末日【発表】2021年4～5月予定【送り先】〒038-3288 つがる市木造出来島33 青森川柳連盟 年鑑係【問合せ】青森県川柳連盟事務局 濱川哲也（電話）080-5574-9297

【冬鼓】外からは気づいてもらえぬ鉢底石。ポジティブな下句がいい。【さち】「なんです・つきました」と軽い会話調で現状をうまく表現。

【1点】佳×1

跳ねかえる石蹴りたがる左足 渡邊こあき

【妙】コロナ禍で足もむずがえっているようです、共感します。

砂になるまでの話を聞きたいか 滋野さち

【写生】最後巨人ゴーレムが砂になってしまいう映像を思い出す。長い廊下の話に似てるっちゃあ似てるが。

燃料棒で漱石の文なぞつてる 笹田隆志

【文音】燃料棒という物騒な核燃料で漱石のどこの文をなぞっているのか、平静さが恐い。

石地藏この世は夢をみるところ 吉見恵子

【紫の園】石地藏にこの世は夢を見るところだと話し、自分にも言い聞かせているのだろうか？

言い違え小石パラパラ降ってくる 渡邊こあき

【妙】ちよっとしたミスも許さじといった風潮は残念ですね。

愛し方忘れた眠たげなダイヤ 峯島妙

【恵子】女王様の風格ですね。ここまでくると面白い。

微笑んで我を励ます石地藏 紫の園

【文音】下五が動きそうに思った。が自分だけに微笑んでいる石地藏はひとつで動かない。

その昔母に娘がいた石切場 滋野さち

【恵子】娘のために勇み立って頑張った過去を振り返っているのですね。

石蹴りに意味があるとは限らない 熊谷冬鼓

【こあき】意味のある石蹴りにしたいです。

黒い石そこに置いてはいけません 渡邊こあき

【五郎】黒い石とは何。大きさ、形は。立ち止まらせる句

ああ昭和漬物石はどうします 小野五郎

【啓子】どうしましょう。下五がいいですね

生殖器以外はモアイ像になる 月波与生

【隆志】イースター島のモアイ像のようになったら大変です。

石地藏マスクをはずす手が欲しい 福田文音

【こあき】はずしてあげたいけど、タイミングが難しい。

広重の長い雨あし常夜灯 吉見恵子

【彰子】歌川広重の斜に走る碧い雨あしを浴びました。

石頭に毛の生えてすぐ液状化 笹田隆志

【彰子】漫画チックで楽しい作品。

■会費拝受【9月受付分】

村井規子（大鰐町）/ 高橋星湖（むつ市）/ まみどり（黒石市）

■おかげょうき川柳社会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

〒039-3502 青森市久栗坂浜田 87-2

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

終着駅 Sin

◆菅政権が変わってからというもの、河野行革大臣の勢いが止まらない。行政のデジタル化を掲げ、行政手続きの脱ハンコを一気に推し進めた◆私も4月から教育委員会に異動となり、学校において生徒一人一人にタブレットを整備する、いわゆる「GIGAスクール構想」を担当している。様々な場面でデジタル化を推める際に「ついてこれない高齢者はどうするんだ」というたった一つのクレームだけで、日本のあらゆるデジタル化が世界的にも恥ずかしいくらい遅れたのである。そもそも高齢者も挑戦もせずに出れないとのたまっていることにも問題がある。私から見ると、ただの食わず嫌いで高齢になってからでも使いこなしている人はたくさんいる。投票に行かない若い世代も悪いが、そういう高齢者のご機嫌ばかり窺って政策を進めてきたツケがコロナ

禍で一気に回ってきたところだろう◆ただ問題なのは、そこではなく、若い世代である。家庭でもスマホやタブレットが普及して、一見、社会のデジタル化が進んでいるように見えるが、それらを使いこなせても、パソコンが扱えない若者が増えてきてしまったのである。就職して初めてPCを触ったという人もいるから驚きである◆おかげょうき川柳社も月例会や杉野十佐一賞の投句等を全面デジタル化に舵を切った。高齢者が多い川柳界なので、もちろん、「出来ない人はどうするんだ」という相変わらずなクレームもすでに届いている。ただ、これはもう不可逆的なもので、そうしていかないと続いていかない状況にまできていると思っている。菅総理が携帯電話の値下げを実現したら（笑）、自身のデジタル化をぜひ一考してほしい◆Sin

おかげょうき川柳社 作品募集案内

□ 2020.11.18 〆 「川柳吟行会 ぼ」11月句会

【投句締切】11月18日（第3水曜日）【題・投句数】「横」3句【投句先】toko@okajoki.com 熊谷冬鼓宛 \*吟行不可につき投句による句会とします。参加者全員による選・選評をメールで交換。後日月刊おかげょうきに掲載。メール交換できる方ならどなたでも参加可。

□ 2020.11.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句（1月号分）

【締切】11月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）、柳号、住地【掲載】1/10発行号【提出先】moriko@okajoki.com 守田啓子宛【ネットからの投句】http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html

□ 2020.12.04 おかげょうき川柳社本社12月句会

【投句締切】12月4日（金）15時【宿題】（各題3句詠）『通』宮井いずみ（大阪府）選/『吊る』柳本恵子（奈良県）選/『自由詠』むさし（青森県）選【投句先】moriko@okajoki.com（守田啓子）【ネットからの投句】http://www.okajoki.com/toku/ 郵便・FAXでの投句不可 ■会員以外の方も参加可、掲載号呈、住所・方書き明記（住所記載がない場合は掲載号の発送できません）/投句フォーム利用時は席題欄に住所・方書き明記

□ 2020.12.20 おかげょうき会員雑詠集「無人駅」5句（2月号分）

【締切】12月20日15時必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句（最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入）、柳号、住地【掲載】2/10発行号【提出先】moriko@okajoki.com 守田啓子宛【ネットからの投句】http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html

